

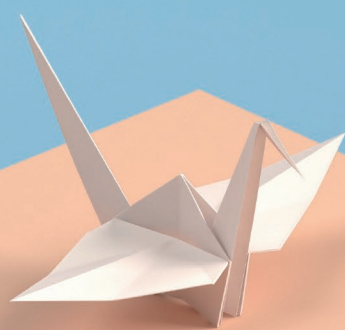
北九州市 平和のまちミュージアム「戦後80周年記念事業」

『平和へのプロジェクト』

序章 ～そして、未来へ～

戦後80周年という節目の年…
戦争の記憶を風化させることなく
平和の大切さや
命の尊さを継承していく

そして、未来へ



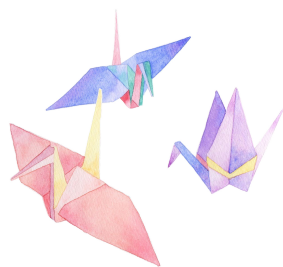
2025年

8月17日 日 J:COM北九州芸術劇場6F中劇場

北九州市小倉北区室町1丁目1-1-11 リバーウォーク北九州内

プログラム

- 10:30～ 開 場
11:00～ 開 会
11:15～ 第1部 パネルディスカッション
12:30～ 昼休憩（舞台転換）
13:30～ 再入場
14:00～ 第2部 劇団東俳『激流ノ果テ ー北九州特別公演ー』
16:00頃 閉 会



第1部 パネルディスカッション

劇団東俳からも2人参加

テーマ：「(仮)都市の文化・歴史、そして、未来へ繋がる平和活動」

先の大戦で市街地空襲を受けた都市等（広島・大阪・東京）の青少年を北九州市に招いて、各都市の戦時下の状況や現在の平和に関する取組みなどについてディスカッションし、未来への継承を考える。戦争の体験を共有し、若者たちの“活動”について広く発信することで、次世代への記憶の継承、地域を越えた連携など、平和の取組みの重要性を訴える。



高橋 智也さん



村山 輝星さん

登壇者：全10名（福山市、堺市、国立市、北九州市の青少年、劇団東俳から各2名）
進 行：北九州市平和のまちミュージアム館長 重信幸彦

第2部 劇・若竹 第6回公演『激流ノ果テ ー北九州特別公演ー』

（株）劇団東俳（脚本・演出：高橋智也）／『第34回 池袋演劇祭』大賞受賞作品

舞台は、終戦間際の小倉（北九州市）。

『第34回池袋演劇祭』で大賞を受賞した演劇作品『激流ノ果テ』を戦後80周年の今夏、小倉の地で特別公演として上演。

戦争という激動の時代を描き出す。

〈ストーリー〉

ここは、太平洋戦争末期の北九州。

昨日も空襲があった。逃げ惑う人達の中、必死に小倉の高台を駆け上がった。

翌日、目を覚ました私は様々な事を忘れていた。

自分の名前も、小さい頃から面倒を見てくれた皆の事も、昨日空襲に遭った事も…。

これは終戦間際を生きた“戦争を忘れた私”の記録。



ご観覧にあたっての注意事項

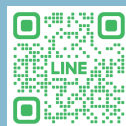
観覧無料

観覧者定員：**350人**

観覧申込：往復はがきによる事前申し込み「市政だより」7月1日号に掲載

※応募者多数の場合は抽選となります。往復はがき以外の応募はできません。

※第2部のみの観覧はできません。第1部、第2部あわせてご覧ください。



深沢 優希
植野 瑚子
史歩
三谷 貫太
関 修人
保坂 真隆
村山 輝星
高木 朋広
師岡 紗帆
田宮 扶史子
篠塚 彩
西谷 名央
浪越 小百合
中村 おと
神津 さくら
中島 明子

作・演出：高橋智也



東 久美子
永井 浩一
平川 愛
筑田 紗礼
中村 妃良
高橋 ひなの
菊川 陽子
森 裕雅
小川 駿
中篠 はるか
宇座 未彩
山根 詩織
和田 梨央
山崎 心
平光 由季
麻見 由宇
森 心

劇・若竹 第6回公演

激流ノ果テ

— 北九州特別公演 —

＜ 北九州市 平和のまちミュージアム 戦後80周年記念事業
『平和へのプロジェクト 序章 ～そして、未来へ～』 ＞

2025.8.17(日) j:com 北九州芸術劇場 6F 中劇場

『激流ノ果テ』 物語の舞台、北九州にて上演

2022年——池袋演劇祭にて、大賞という榮譽を手にした舞台『激流ノ果テ』。
翌年、豊島区“あうるすぽっと”にて再演され、
観客の心を深く揺さぶった本作が今、ひとつの帰還を果たす。
舞台の原点、そして物語の源流——北九州。
幾重の想いが染み入った大地に、再びその鼓動が響きはじめる。
今こそ生まれた地で…。祈りが宿る場所で…。
——この“帰郷”が“道標”となる事を願って——



— story —

昨日も空襲があった。

逃げ惑う人達の中、必死に小倉の高台を駆け上がった。

翌日、目を覚ました私は様々な事を忘れていた。

自分の名前も、小さい頃から面倒を見てくれた皆の事も、

昨日空襲に遭った事も…。

これは終戦間際を生きた“戦争を忘れた私”の記録。

— cast —

深沢 優希 / 植野 瑚子 / 史歩 / 三谷 貫太 / 関 修人 / 保坂 真隆 /
村山 輝星 / 高木 朋広 / 師岡 紗帆 / 田宮 扶史子 / 篠塚 彩 / 西谷 名央 /
浪越 小百合 / 中村 おと / 神津 さくら / 中島 明子

— ensemble cast —

東 久美子 / 永井 浩一 / 平川 愛 / 筑田 紗礼 / 中村 妃良 / 高橋 ひなの /
菊川 陽子 / 森 裕雅 / 小川 駿 / 中篠 はるか / 宇座 未彩 / 山根 詩織 /
和田 梨央 / 山崎 心 / 平光 由季 / 麻見 由宇 / 森 心

— staff —

製作：落合 千代子 / 脚本・演出・舞台監督：高橋 智也 /
舞台監督補佐：伊達 シノヒコ / 音響：照島 佳宏 / 照明：古谷 亮 /
衣装・メイク：コスチューム東俳 / 宣伝：小原 夏輝 /
演技事務：藤田 友唯 / 制作：緒形 祐二郎



日程：2025.8.17(日) 公演会場：j:com 北九州芸術劇場 6F 中劇場

【ご観劇のお申込みは“北九州市平和のまちミュージアム”へ】

<プログラム>

11:00 開会
11:15 【第1部】パネルディスカッション
12:30 休憩
14:00 【第2部】『激流ノ果テ-北九州特別公演-』上演
16:00 閉会

※第1部「パネルディスカッション」、第2部「(演劇)激流ノ果テ-北九州特別公演-」の2部構成となっております。
第2部からのみの観覧はできません。



【劇・若竹の最新情報はこちら】

脚本・演出の高橋智也と若手俳優を中心とした劇団東俳制作の舞台公演。2020年に旗揚げ公演『さよなら、ナオキ。』を上演。

<受賞歴>

2021年『風に任せて』 第33回池袋演劇祭「舞台芸術振興会賞」
2022年『激流ノ果テ』 第34回池袋演劇祭「大賞」
2024年『タイムリミットは夏の終わり』 第36回池袋演劇祭「みらい館大賞」

劇・若竹公式X
アカウント



【電車】JR小倉駅(南口)より徒歩約15分。JR西小倉駅より徒歩約10分。

【バス】西鉄バス「室町・リバーウォーク前」もしくは「西小倉駅前」。

【車】北九州都市高速「小倉駅北」から約5分。「大手町ランプ」から約6分。

※劇場の専用駐車場はありません。リバーウォーク北九州ほか周辺の駐車場をご利用ください。

(株)劇団東俳 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-37-1 Tel:03-3941-5526 <https://g-tohai.co.jp>